

警鐘レポート5 血管内治療時の大腿動脈穿刺に伴う後腹膜出血による死亡

事例5

< 事例概要 >

- ・ 80歳代。内頸動脈狭窄症で頸動脈ステント留置術を施行。抗血栓薬を2剤服用中。
- ・ 血管内治療時に大腿動脈を穿刺。治療後、止血デバイスおよび用手圧迫で止血中、下腹部痛あり。血圧が低下し、超音波検査で腹壁の周囲に血腫を確認。症状出現から約30分後、CTの待機中に心肺停止。心拍再開後、CTで後腹膜血腫を確認、ステントグラフトを挿入し止血。その後、腹部膨満感が増強。CTで腰動脈から出血があり、塞栓術を施行したが再出血をきたし、2日後に死亡。
- ・ 解剖有、Ai無